

くまもと県北病院に通院中または過去に通院・入院された患者さままたはご家族の方へ当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2026 年/0月 8 日

「上皮癌に対するEVP(エンホルツマブベドチン+ペムブロリズマブ)療法」に関する研究を実施してい

くまもと県北病院倫理委員会の審査による承認を得て、上記研究を実施しています。

この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	202619
課題名	尿路上皮癌に対するEVP(エンホルツマブベドチン+ペムブロリズマブ)療法の報告
所属（診療科等）	泌尿器科
研究責任者	山口隆大
研究実施期間	2026年6月～2027年5月
研究の意義・目的	当院における尿路上皮がん（膀胱がん、腎盂・尿管がん）におけるEVP（エンホルツマブベドチン+ペムブロリズマブ）を使用した全身化学療法の治療効果、副反応をまとめる。
対象となる方	根治切除不能な尿路上皮がん患者（膀胱がん、腎盂・尿管がん）
利用する診療記録・検体	年齢、病理結果、病期ステージ、治療開始日、治療効果判定、副作用、採血データ
研究方法	後ろ向き研究
問合せ先	泌尿器科 山口隆大、有働和馬、東俊之介、田中聡

- 診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。
- 当院外へお名前や個人情報がでることはありません。
- 必要な情報のみを集計します。
研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
- この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了承いただけない場合、またご不明な点については上記問合せ先までご連絡くださいますようお願いいたします。
- 研究不参加を申し出られた場合でも、何ら不利益を受けることはありません。
ただし、同意取り消しの申し出をいただいていた時、すでに研究成果が論文などで公表

されていた場合や試料や情報が匿名化されて個人情報全く特定できない場合などには結果を廃棄できないことがあり、引き続き使用させていただくことがあります。